e-Front runners

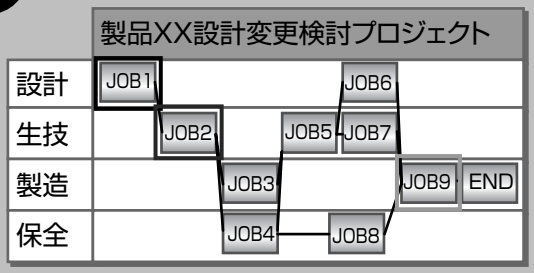
迅速な製品市場投入のために・・・

MainGATE／Knowledge Flow®

近年，製造業では，消費者ニーズの多様化，製品ライフサイクルの短期化などにより，変化にすばやく対応出来る体質への変革を求められています。
MainGATE／Knowledge Flow を使えば，従来の業務に対して違和感無くPDCAサイクルを廻し業務改善とノウハウの蓄積／再利用を実現できます。
MainGATE／Knowledge Flow は，大きく分けて以下の3つの機能ブロック構造を持っています。

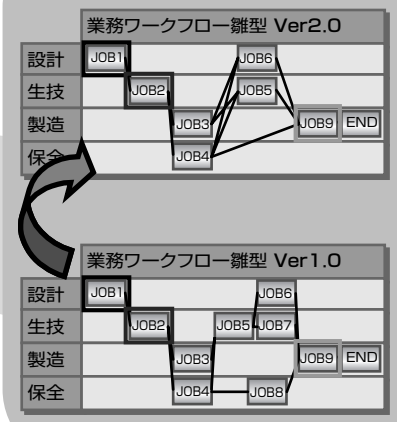
(1)業務をプロセスモデルとして可視化するためのエンジニアリング機能
(2)可視化したプロセスによる業務実行を支援する機能
(3)業務実行過程／結果を記録し分析･改善に供する機能
これらの機能を使うことによって，①製品品質の設計レベルからの作り込み，②活動実行品質の安定化・改善，③リードタイムの短縮を実現します。

P 業務プロセスの可視化



描画ツールで作成した業務プロセスモデルを，ワークフローとして実装できます。また，業務実行に必要なデータや業務で作成されるデータを「エンジニアリングツール」で定義して業務実行フォームを自動生成します。

A 継続的な業務プロセス改善の実行

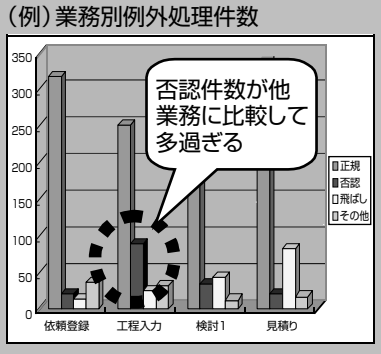


業務の流れをさらに改善するために，分析結果をもとに業務プロセスを再設計します。
従来の業務プロセスモデルを並行運用することも可能です。

D ワークフロー管理･ナレッジの再利用

ワークフロー上で行なわれる業務は，プロセスモデルや，ガントチャートで進捗や負荷をチェックできます。また，課題の検討実績や課題解決のノウハウは，添付された関連資料も含めたかたちで自動蓄積し，自然文による類似情報検索でテーマを絞り込んだかたちで再利用できます。

C プロジェクト実績データの分析･活用



プロジェクト実行後は，システムに蓄積された業務実績データを，分析してボトルネックやリソースの負荷状況などを顕在化し，最適プロセス作成の手がかりを提供します。

■主な特長

●業務プロセスのPDCAサイクル

①ワークフローエンジン	一般的な機能に加え，異なるバージョンの業務のプロセスが共存可能
②進捗管理／負荷管理	一覧表，プロセスモデル図での表示，ガントチャート表示
③業務履歴分析・業務プロセスシミュレーション	表示項目や種類を組み合わせたグラフのひな形設定や，業務履歴に基づくシミュレーションが可能

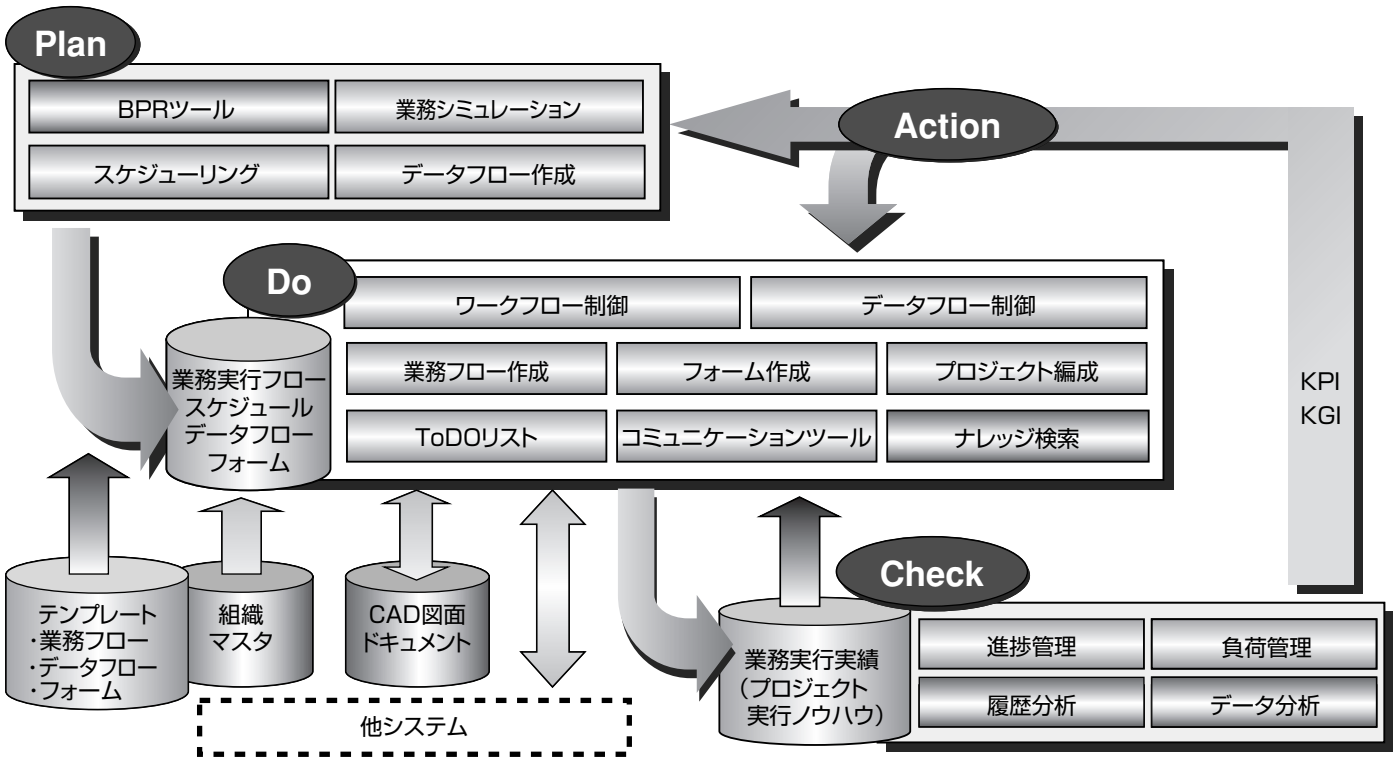
●ナレッジマネジメント

①ディスカッション	ワークフローの業務とリンクしたかたちでディスカッション記録を蓄積でき，リンク情報はナレッジ検索で利用可能
②ナレッジ検索	業務実行結果の格納時に，プロジェクト/実行業務を特定するキーワードとリンクして保存し，検索時には実施中プロジェクト/業務のキーワードも自動付加した後，検索・抽出を行う

●業務実行のエンジニアリング

①BPR連携	BPRツールで記述された業務プロセスモデルをそのまま取り込み可能
②データフロー定義	各業務に必要なデータ項目のIN/OUTを定義することで，対象の業務プロセスで必要となるデータの一覧を整理でき，またそのデータの属性等を定義することでデータベースを生成することが可能
③フォーム部品生成	データフロー定義からデータアクセステーブル及び動作スクリプトを含むフォーム部品を自動生成する

■機能構成



⚠安全に関するご注意 ご使用の前に，「取扱説明書」や「仕様書」などをよくお読みいただくか，当社またはお買上の販売店にご相談のうえ，正しくご使用ください。

富士電機システムズ株式会社

☎03-5435-7114
〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー
お問い合せ先　e-ソリューション本部 情報システム統括部 ソリューション二部
☎042-585-6164
〒191-8502 東京都日野市富士町1番地

ホームページURL
http://www.fesys.co.jp/

本資料の内容は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

2005-11/10FIS Printed in Japan